

放	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	75 %	25.0%		
②	職員の配置数は適切である	100 %			
③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	25 %	50.0%	25 %	・ 配管の関係で段差をすべてなくすことはできない 【工夫】 ・ 玄関から入室、プレイルーム内には段差を作っていない
④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	25 %	75 %		
⑤	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	50 %	50.0%		【工夫】 ・ 自己評価を共有して改善点を共有している
⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	75 %	25.0%		・ 事業所サイトにて公表している
⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	25 %	25.0%	50 %	・ 今後検討していきたい
⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100 %			
⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	75 %	25.0%		
⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		100.0%		【工夫】 KIDSや遠城寺などのバッテリーを適宜使用している
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	25 %	50.0%	25 %	
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	75 %	25.0%		
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	25 %	50.0%	25 %	【工夫】 ・ 祝祭日を利用して親子参加型のクラスやお楽しみ会を実施している

子ども発達支援ルームおれんじ学園

令和 4年度 事業所向け 放課後等デイサービス自己評価集計結果

放	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	75 %	25.0%		
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	50 %	50.0%		【工夫】 ・クラスのリーダーをスタッフで交代することで全員が利用児や活動を把握しやすくしている
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等共有している	50 %	50.0%		【工夫】 ・全員で同時に共有することは難しいため、打ち合わせに参加できなかったスタッフは記録を把握してもらう
⑰	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	75 %	25.0%		
⑱	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	75 %	25.0%		
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	50 %	50.0%		
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	25 %	75.0%		・担当者が参加するようにしており、情報は施設内や児童発達支援管理責任者と共有している
㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	25 %	75.0%		・送迎を行っておらず学校関係者とかかわる機会が少ない
㉒	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			100 %	・医療的ケア児の対応はしておりません
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に務めているか	25 %	75.0%		
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		50.0%	50 %	・高校卒業を迎えるお子さんにまだ対応していない

放	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	25 %	25.0%	50 %	・コロナ禍により研修が減っているがオンラインでの説明会に参加している
②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか			100 %	・放課後等デイサービスの利用者は基本的に個別支援なので訓練が主になっており外部との交流は少ない
②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		75.0%	25 %	
②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達や状況や課題について共通理解を持っている	75 %	25.0%		
②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	25 %	25.0%	50 %	
③⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	75 %	25.0%		
③⑪	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100 %			
③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	25 %	25.0%	50 %	
③⑬	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100 %			
③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	25 %	50.0%	25 %	【工夫】 ・相談したいと思える人になる ・Instagramやホームページブログで活動内容載せている ・情報を十分に保護者や子どもに伝えられていないと思う為、他の方の方法を聞いて参考にしたい。 ・Instagram、ブログにて発信
③⑮	個人情報の取り扱いに十分注意している	100 %			

放	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	75 %	25.0%		
③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	25 %	50.0%	25 %	
③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	25 %	25.0%	50 %	【工夫】 ・災害時の対応について毎年お知らせを作成して配布している
③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	25 %	25.0%	50 %	・避難訓練実施を消防署に連絡している
④①	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	50 %	50.0%		【工夫】 ・受付時や最初の面談にて確認している ・初回面談の用紙にて確認欄を作成している
④②	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	75 %		25 %	【工夫】 ・社内の必須研修(社員全員が受講必須)にて虐待の講義を毎年受講している
④③	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	75 %		25 %	
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	75 %		25 %	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	50 %		50 %	